



ら しん ばん
羅 針 盤

2021年4月16日 第2号

魚住東中学校 校長室から

君の可能性を輝かせたい

校長 赤松 弘一



【学校教育目標】

生徒が輝く学校

【目指す生徒像】

- ① 進んで学ぶ生徒（知） ② 思いやりのある生徒（徳） ③ たくましい生徒（体）

【目指す学校像】

- ① 笑顔があふれる学校 ② 安全・安心に過ごせる学校 ③ 地域に開かれた学校



春の日差しを受けて緑がまぶしく輝いています。あらゆる生き物の命が、生きることの喜びを歌っているようです。

昨年度に続いて、新型コロナウイルスの感染が拡大する中、不安な中での学年のスタートになりました。変異株は若い世代にも感染しやすいため、学校は一層の感染防止対策をする必要があります。一方、家庭内感染の防止も重要です、日々の検温や体調観察など、ご協力よろしくお願いします。

さて、本校は「生徒が輝く学校」を教育目標としています。子どもたち一人一人は様々な個性とともに、それぞれに大きな可能性を秘めています。日本においては子どもの自尊感情や自己肯定感が他国に比べて低いという調査結果があります。自尊感情は、積極的に目標を立ててそれに向かって努力しようとする前向きな気持ちを高めます。反対に自分はダメだという思いは、学習意欲や自主的に取り組もうとする気持ちを低下させます。魚住東中学校では、何事にも主体的に取り組める生徒を育むために、授業や様々な活動を通して、自尊感情や自己肯定感を高め、自己の可能性に目覚めるように取り組んでいます。また、他の人の可能性や大切さに気付くことで、思いやり心は育ちます。学校での集団生活はその意味においても重要であると考えます。

子どもたちの持つ様々な可能性は、本人も周りの人も気付かないことが多く、また、その開花には時間がかかることもあります。私は長い教師生活の中で、様々なきっかけで自尊感情や自己肯定感を得て、自分の可能性を開花させていった生徒にたくさん出会いました。私たち教職員は、そのきっかけにつながる出会いや、可能性に気付く経験を与えていくことが使命だと思います。子どもは自己の持つ可能性に目覚めたときに、無限の力を発揮するものです。学習も「させられる」のではなく、なりたい自分に近づくために自ら取り組んでこそ身に付きます。子どもたちの可能性が輝くとき、先生も輝きます。そして魚住東中学校が輝きます。